

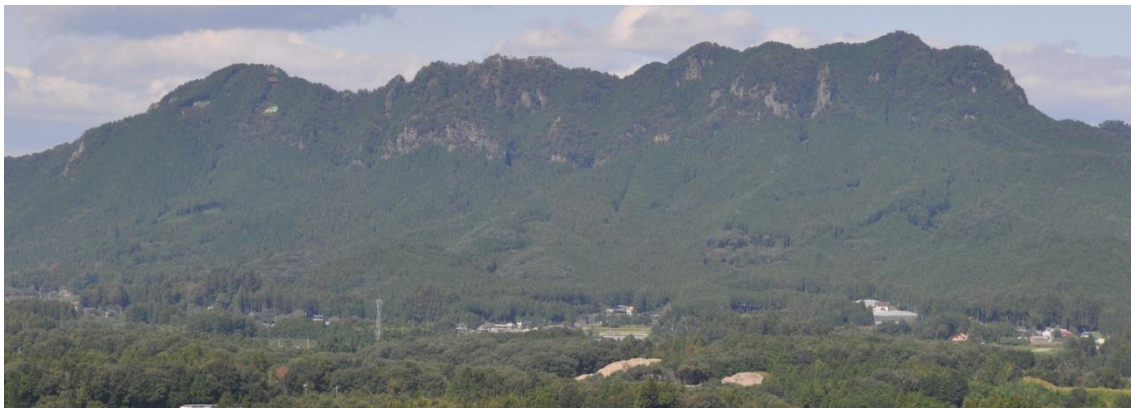
古賀志山と細野山

古賀志山は宇都宮市古賀志町にあり、東端の古賀志山頂、中央部の御嶽山、西端の赤岩山を結ぶ主稜線とその南方に広がる裾野部分を指している。

細野山は宇都宮市福岡町細野にあり、通称中尾根、北尾根と称する一帯を指している。

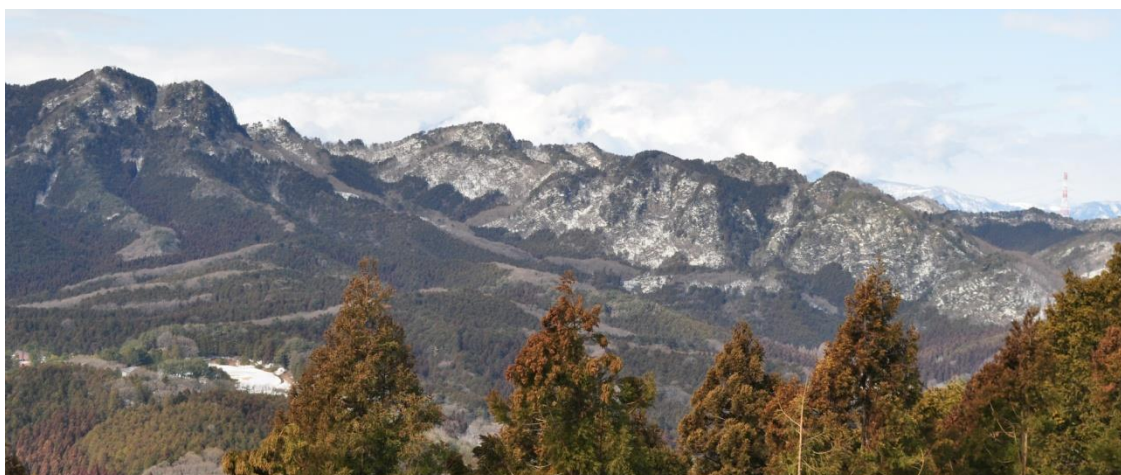
昭和三十五年以降、宇都宮県立自然公園としての網がかかる区域は広く、宇都宮市新里町、徳次郎町、田下町、福岡町、古賀志町、大谷町及び田野町の一部にまたがる。

特に田下町の多氣山持宝院社叢（六ha）、福岡町の森林公園（三〇ha）、古賀志町の古賀志山・赤岩山稜線部（八五ha）の三地域は、「特別地域」に指定されている。また、「普通地域」として、前述の七町（一七六二ha）がその対象地域となっている。「栃木県立自然公園条例」に基づき、地域内で行う行為については許可申請や届出の許認可が必要となっている。



古賀志山は古賀志町にある。

「山脈の重なるものは古賀志山脈にして西北即上都賀郡落合村より来り 東に向ひて馳走し福岡細野の奥に至りて盡く其最高峰は海拔五三八米突に及び本村第一の高峰なり…」『城山村郷土誌』の第二節「地勢」の引用である。城山村が宇都宮市に代わっても、地勢そのものには変わりはない。



細野山は福岡町細野にある。『城山村郷土誌』は、

「…多氣山あり海拔三七六・九米突 東北は国本村大字新里の山脈に連り 西は福岡細野山に連なり 溪谷相起伏し古賀志山脈と連る…」として、古賀志山とは一線を画している。つまり、東稜からP五五九を結ぶ稜線の東側と通称北尾根との内側は、福岡町であり、細野山と称されていた。

今日、古賀志山への入山口で賑わう宇都宮森林公園一帯は、宇都宮市福岡町にあり、小字名は細野である。最初にできた「細野ダム」もこの小字名に由来する。

通称中尾根、北尾根と呼ばれる一帯は純然たる福岡町の細野山に属し、古賀志山とは一線を画している。元々、福岡村と古賀志村とは、別々の歴史を歩んできた。駒生村、荒針村、飯田村、田下村、田野村、福岡村、古賀志村の七か村が合わさり城山村になったのが、明治二十二年（一八八九）のことであった。

古賀志山も細野山も大部分は民有林で占められ、国有林、市有林が複雑に入り組んでいる。民有林であるが故に地主が知らぬ間に登山道が無数に作られ、対立を生んできた経緯がある。